

令和7年6月23日

お知らせ

課名	文化振興課
担当	稲田、逢澤、角田
内線	3141、3144、3143
直通	086-226-7901

「第77回岡山県文化賞」及び「第26回岡山芸術文化賞」の 受賞者が決定しました

県では、本県の芸術又は学術の発展に著しく貢献した個人又は団体に「岡山県文化賞」を、また、各年度において芸術文化活動の優れた業績などが認められた個人又は団体に「岡山芸術文化賞」を贈ることとしています。この度、次のとおり受賞者を決定し、表彰式を開催しますので、お知らせします。

1 受賞者

- ・第77回岡山県文化賞
北村 實 (芸術：将棋)
清家 章 (学術：日本考古学)

※功績詳細は別紙のとおり

- ・第26回岡山芸術文化賞
 - (1) グランプリ 3件 (2名、1団体)
 - (2) 準グランプリ 6件 (3名、3団体)
 - (3) ジュニア奨励賞 7件 (5名、2団体)
 - (4) 地域貢献賞 2件 (2団体)

※受賞者、功績詳細は別紙のとおり

2 表彰式

- ・日時 令和7年7月18日(金) 16:00～
- ・場所 ルネスホール
岡山市北区内山下1-6-20 TEL:(086) 225-3003

※両賞合同で開催

<参考(副賞等)>

- ・岡山県文化賞
賞状と副賞(賞金20万円)
- ・岡山芸術文化賞
賞状、賞牌及び副賞(グランプリ:賞金5万円、準グランプリ:賞金3万円、ジュニア奨励賞:図書カード1万円分、地域貢献賞:賞金3万円)

3 その他

- ・今回の表彰から岡山芸術文化賞の賞牌デザインを変更しています。(別添写真参照)

第 77 回岡山県文化賞（芸術：将棋）

きたむら みのる
北村 實

昭和 8 年生（91 歳） ※年齢は令和 7 年 7 月 18 日現在
倉敷市広江



略 歴

昭和 38 年 大山康晴十五世名人後援会役員（倉敷地区理事）
昭和 45 年 日本将棋連盟岡山県支部連合会 常務理事
昭和 48 年 山陽新聞社将棋解説員
平成 5 年 倉敷市大山名人記念館 館長補佐
平成 7 年 （社）日本将棋連盟 棋道指導員
平成 12 年 （社）日本将棋連盟 棋道師範
平成 16 年 （社）日本将棋連盟 名誉会員
 岡山刑務所 篤志面接委員
平成 24 年 倉敷市大山名人記念館 館長
 （公社）日本将棋連盟 アマチュア六段
令和 3 年 （公社）日本将棋連盟 棋道正師範

受賞歴

昭和 60 年 （社）日本将棋連盟感謝状
平成 14 年 第 1 回倉敷市将棋文化栄誉章
平成 17 年 第 12 回大山康晴賞
平成 19 年 岡山刑務所長感謝状
平成 20 年 広島矯正管区管内篤志面接委員協議会感謝状
平成 23 年 第 69 回山陽新聞賞（社会功劳）
平成 28 年 倉敷市文化章

業 績

故大山康晴十五世名人がひたむきに将棋文化の普及活動に努める姿に感銘を受け、昭和 38 年に大山康晴十五世名人後援会役員となって以降、60 年以上にわたり岡山県における将棋文化の普及・振興に尽力した。

大山名人とともに県内の将棋連盟支部開設に奔走し、昭和 45 年に日本将棋連盟東中国支部連合会（後の岡山県支部連合会）の常務理事に就任した。

大山名人が亡くなった平成 4 年以降は、倉敷市大山名人記念館の設立や、女流棋士公式タイトル戦「大山名人杯倉敷藤花戦」の創設、全国小学生「倉敷王将戦」や、菅井竜也八段らを輩出した「こども将棋教室（倉敷市大山名人記念館で開催）」など様々な将棋事業を手掛けた。

日本将棋連盟からは、平成 12 年に将棋文化普及指導員「棋道師範」に、令和 3 年には「棋道正師範」に委嘱され、平成 17 年には将棋文化の普及活動に尽力した個人・団体に贈られる「大山康晴賞」を受賞した。

平成 24 年から倉敷市大山名人記念館館長として大山名人の業績を全国に発信する傍ら、プロ棋戦の誘致、子ども将棋大会など多くの将棋事業を手掛けている。

こうした長年の取り組みとその成果は、本県文化芸術の振興に大きく貢献しており、その功績は誠に顕著である。

第 77 回岡山県文化賞（学術：日本考古学）

せいけ あきら
清家 章



昭和 42 年生（58 歳）※年齢は令和 7 年 7 月 18 日現在
岡山市中区原尾島

略 歴

平成 5 年 大阪大学大学院文学研究科前期課程修了
平成 6 年 豊中市教育委員会文化財担当職員
平成 10 年 大阪大学文学部助手
平成 15 年 高知大学人文学部助教授
平成 19 年 高知大学人文学部教授
平成 27 年 岡山大学大学院社会文化科学研究科教授（現在に至る）

令和 3 年 史跡こうもり塚古墳保存活用計画策定検討会委員（令和 5 年 3 月まで）
令和 5 年 第二次山陽遺跡整備委員会委員長（現在に至る）

受賞歴

平成 15 年 村尾育英会学術賞（近畿古墳時代の埋葬原理研究に対し）
平成 17 年 第 1 回高知大学教育奨励賞
平成 23 年 第 21 回高知県出版学術賞（『古墳時代の埋葬原理と親族構造』に対し）
第 5 回女性史学賞（『古墳時代の埋葬原理と親族構造』に対し）

主な著書

古墳時代の埋葬原理と親族構造
埋葬からみた古墳時代

業 績

岡山県における古墳調査を熱心に行い、岡山市飯盛山東 1 号墳、総社市鳶尾塚古墳の発掘調査を進めたほか、埋葬施設の発掘が基本的に許されない、国史跡岡山市造山古墳、及び、同総社市作山古墳において、素粒子ミュオンによる探査を行い、岡山県の顔ともいえる古墳の内容解明に努めている。文化財保存では、県内古墳出土の金属製品の修理・修復を精力的に進めたほか、楯築遺跡特殊器台について、クラウドファンディングによって資金を調達し修復を完成させている。

専門の日本考古学においては、考古学と人類学・物理学・法医学等の異分野融合研究を進め、特に古墳時代の親族構造研究では、双系社会学説と父系社会学説が存在する中、科学的分析方法を取り入れた研究成果で、古墳社会の父系化について具体的な道筋を提示した。

また、教育面においても平成 17 年に高知大学教育奨励賞を受賞するなどその教育には定評がある。平成 27 年からは岡山大学大学院社会文化科学研究科教授として文化財専門職などの後進の指導にあたり、県内自治体に専門人材を送り出している。

こうした長年の研究とその成果は、本県学術の向上に大きく貢献しており、その功績は誠に顕著である。

第26回岡山芸術文化賞 受賞者一覧

【グランプリ】

分野	氏名	年齢	職業等	住所	成果	概要
個人	美術 さこだ たくおみ 迫田 岳臣	60歳	大学主任技術員	倉敷市中島	・高梁市成羽美術館「迫田岳臣 古代ガラス復元への挑戦」展の開催 ・古代ガラス復元技法をまとめた記録集を刊行 ・第76回正倉院展に「瑠璃・小尺・魚形」の再現模造品を出陳	四半世紀にわたり、古代ガラス技法の復元研究に取り組み、奈良・唐招提寺の国宝「白瑠璃舍利壺」などの復元に成功した。2024年には活動の集大成として高梁市成羽町美術館で個展を開き、合わせて技法をまとめた記録集を刊行した。
	洋楽 たばた おとは 田畑 音葉	25歳	ヴィオラ奏者	アムステルダム (岡山市出身)	・第30回ヨハネス・ブラームス国際コンクール ヴィオラ部門 第3位受賞	国際的に権威ある大会である第30回ヨハネス・ブラームス国際コンクールにおいて、ヴィオラ部門で第3位を受賞した。

分野	団体名	創設年月	所在地	成果	概要
団体	舞踊 創志学園高等学校 ダンス部	平成29年4月	岡山市北区下伊福西町	・全国高等学校ダンスドリル選手権大会2024 HIPHOP女子部門small編成第1位、GRAND ACHIEVEMENT AWARD 第1位 ・第16回全国高等学校ダンスドリル冬季大会 HIPHOP男女混成small編成第1位、Mr.SOLO部門第1位、 HIPHOP男女混成small編成団体総合第2位	全国高等学校ダンスドリル選手権大会2024の2部門で第1位を受賞するとともに、第16回全国高等学校ダンスドリル冬季大会でも第1位を受賞するなど、多くの大会で優れた成果を挙げた。

【準グランプリ】

分野	氏名	年齢	職業等	住所	成果	概要
個人	洋楽 いるみ ここ 入海 湖々	15歳	高校生 (東京藝術大学音楽学部 附属音楽高等学校) 当時：岡山大学附属中学校	神奈川県川崎市 (岡山市出身)	・第78回全日本学生音楽コンクール全国大会フルート部門 中学校の部 第1位	第78回全日本学生音楽コンクール全国大会においてフルート部門で中学校の部、第1位とともに横浜市民賞も合わせて受賞した。
	美術 おの れいか 小野 玲華 (本名：小野 れい子)	68歳	書道家	岡山市北区中仙道	・第11回日展第5科特選	国内最大の美術公募展である日展の第11回展「第5科 書」において、特選を受賞した。
	美術 こんどう まさひこ 近藤 正彦	54歳	陶芸家	瀬戸内市牛窓町長浜	・第52回伝統工芸陶芸部会展 日本工芸会会長賞	全国の陶芸家が出品する第52回伝統工芸陶芸部会展において、最高賞である日本工芸会会長賞を受賞した。

分野	団体名	創設年月	所在地	成果	概要
団体	舞踊 IPU・環太平洋大学ダンス部	平成27年4月	岡山市東区瀬戸町観音寺	・第36回全日本高校・大学ダンスフェスティバル 特別賞 ・チアリーディング日本選手権大会チアダンスシニア部門 優勝 ・第24回中国四国チアリーディング選手権大会チアダンス競技 総合優勝	大学創作ダンス国内最高峰の大会第36回全日本高校・大学ダンスフェスティバルにおいて、特別賞を受賞するとともに、チアリーディング日本選手権大会チアダンスシニア部門において、優勝するなど、多くの大会で優れた成果を挙げた。
	舞踊 岡山大学 ダンス部	昭和36年4月	岡山市北区津島中	・第36回全日本高校・大学ダンスフェスティバル 特別賞 ・第27回アーティスティック・ムーブメント・イン・トヤマ (ART.M) 2024 特別賞	大学創作ダンス国内最高峰の大会である第36回全日本高校・大学ダンスフェスティバルにおいて、特別賞を受賞するとともに、第27回アーティスティック・ムーブメント・イン・トヤマ (ART.M) 2024においても特別賞を受賞した。
	美術 明誠学院高等学校 書道部	平成8年4月	岡山市北区津島西坂	・第19回全国高校生く書道>S-1グランプリ グランプリ ・第36回高等学校揮毫大会 最優秀団体校賞 ・第29回全日本高校・大学生書道展 全国第4位 ・第33回国際高校生選抜書展 中国地区優勝	第19回全国高校生く書道>S-1グランプリにおいて、グランプリを受賞するとともに、第36回高等学校揮毫大会において、最優秀団体校賞を受賞するなど、多くの大会で優れた成果を挙げた。

【ジュニア奨励賞】

分野	氏名	年齢	職業等	住所	成果	概要
個人	美術 あかぎ しんじろう 赤木 進次郎	18歳	大学生 (花園大学) 当時：明誠学院高等学校	京都府京都市 (岡山市出身)	・第29回全日本高校大学生書道展 漢字部 書道展大賞 ・第55回近江神宮全国献書大会高等学校の部 文部科学大臣賞 ・第13回全国書写書道総合大会令和6年度全国学生書写書道展 中学生～大学生の部 文部科学大臣賞	第29回全日本高校大学生書道展の漢字部において、最高賞である書道展大賞を受賞するとともに、第55回近江神宮全国献書大会高等学校の部においても、最高賞である文部科学大臣賞を受賞した。
	美術 くわはら りほ 菜原 里歩	18歳	大学生 (筑波大学) 当時：明誠学院高等学校	茨城県つくば市 (岡山市出身)	・第48回全国学生書写書道展 文部科学大臣賞 ・第40回全国書き初め展覧会 文部科学大臣賞	第48回全国学生書写書道展及び第40回全国書き初め展覧会において、最高賞である文部科学大臣賞を受賞するなど、数々の成績を収めた。
	美術 さいとう つむぎ 齋藤 つむぎ	16歳	高等課程生徒 (中国デザイン専門学校)	岡山市北区津島本町	・第36回全日本高校デザイン・イラスト展経済産業大臣賞	第36回全日本高校デザイン・イラスト展において、第3位となる経済産業大臣賞を受賞した。
	洋楽 たかまつ まさかぜ 高松 正風	18歳	大学生 (東京藝術大学) 当時：岡山県立岡山城東高等学校	東京都足立区 (岡山市出身)	・第78回全日本学生音楽コンクール全国大会声楽部門高校生の部 第3位 ・第25回「高校生のための歌曲コンクール」本選 優秀賞	第78回全日本学生音楽コンクール全国大会声楽部門高校生の部において、第3位を受賞するとともに、第25回「高校生のための歌曲コンクール」本選において、優秀賞を受賞するなど、数々の成績を収めた。
	洋楽 わたなべ れお 渡邊 怜王	12歳	中学生 (倉敷市立東中学校) 当時：倉敷市立万寿小学校	倉敷市平田	・第26回ショパン国際ピアノコンクールinASIA アジア大会小学5・6年生部門 金賞 ・第26回ショパン国際ピアノコンクールinASIA オンライン決勝大会小学5・6年生部門 金賞 ・第11回津山音楽コンクール ピアノ5・6年生の部 1位	第26回ショパン国際ピアノコンクールinASIA アジア大会小学5・6年生部門において、金賞及びソリスト賞を受賞するとともに、第11回津山音楽コンクール ピアノ5・6年生の部において、第1位を受賞するなど、数々の成績を収めた。

分野	団体名	創設年月	所在地	成果	概要
団体	洋楽 岡山学芸館高等学校吹奏楽部	昭和49年4月	岡山市東区西大寺上	・第72回全日本吹奏楽コンクール 金賞 ・第48回全日本アンサンブルコンテスト 金賞	第72回全日本吹奏楽コンクール及び第48回全日本アンサンブルコンテストに中国支部代表として出場し、金賞を受賞した。吹奏楽コンクールでは7大会連続10度目の受賞となった。
	舞踊 岡山市立芳泉中学校 ダンス部	平成2年4月	岡山市南区芳泉	・第14回全国中学校ダンスドリル選手権大会 HIPHOP女子部門Small編成 第1位 ・第14回全国中学校ダンスドリル選手権大会中国四国大会 HIPHOP女子部門Small編成 第1位	第14回全国中学校ダンスドリル選手権大会において、HIPHOP女子部門Small編成 第1位を受賞した。

【地域貢献賞】

分野	団体名	創設年月	所在地	成果
団体	邦楽 一般社団法人関西音楽指針会	明治36年	岡山市東区升田	明治36年生田流箏曲の発展と師匠の養成を目的に「音楽奨励会」として岡山に創設。大正2年に「関西音楽指針会」に改名。日本音楽の研究を行い、広く普及を図ることを目的として年2回の演奏会を実施していたが、昭和58年からは会員減少に伴い春季だけの開催になる。会員は目の不自由な人も多く、会長として頑張られる程の卓越した能力の先人も数多く輩出。コロナ以後も次世代へ継げる一環として和楽器出前講座を含め地域おこし事業等にも積極的に参加。
	総合 「勝山のお雛まつり」実行委員会	平成10年10月	真庭市勝山	「勝山のお雛まつり」は、平成11年に始まり、令和7年で27回目を迎えた。勝山町並み保存地区の民家や商家の軒先に飾られたお雛様を眺めて楽しむ中で、歴史的建築物を活かしたしつらえやおもてなしなどの日本文化の継承と普及に努めている。ピーク時にはお雛まつり5日間に4万人の方が来場した。令和7年は、フォトコンテスト、スタンプラリー、お雛BOX展示を企画した。ボランティアで地元中高校生が毎年、参加している。令和7年は小中学校生が授業の一環でお雛まつりに参加した。

※年齢は令和7年6月23日現在

岡山芸術文化賞 新しい賞牌のデザインについて

これまで第1回から使用してきた岡山芸術文化賞の賞牌について、I氏賞受賞者へ作成を依頼し、次のとおりデザインを刷新した。

1 作者

賞牌デザイン：大西伸明氏

(岡山県新進美術家育成「I氏賞」第1回大賞受賞者)

短歌：大森静佳氏

(第25回岡山芸術文化賞グランプリ受賞者)

2 デザイン

- ・短歌をアクリルのオブジェの中に入れ込んだもの。
- ・短歌や台座のバックの色は、賞の種類毎に異なる。

